

平成 25 年 11 月 29 日

上牧町議会

議長 富木 つや子 殿

第 2 回上牧町議会報告会要録

日 時 平成 25 年 10 月 19 日（土）

午後 1 時 30 分～3 時

場 所 2000 年会館 多目的室

出席者 富木、辻、長岡、堀内、吉中、石丸、木内、
康村、東、芳倉、服部

参加者 23 名（受付済み）

資 料 ① 議会基本条例の施行と議会改革の取り組みについて
② 土地開発公社の解散と三セク債の借入れについて
③ 平成 24 年度決算審査と今後の課題

主な意見や質疑応答の要旨

(質問者) 2回目の議会報告会の開催は住民の立場から有りがたい。一方参加者が少なくまだまだ浸透していないが、増えるように常に考えて頂き住民の為に長く続けて頂きたい。議会基本条例の議会改革として全体の取り組み状況と評価について、今後基本条例のどの部分に力を入れていくのか、インターネット中継や議案の賛否の掲載など議会改革の今後の評価・方向性について進捗させて行くにはどのように進めればいいのか意見を聞きたい。

(議会) 議会改革の評価については始まったばかりで具体的に評価できる段階ではないが、議会基本条例のテーマはたくさんあり、出来るところから確実に進めたいと考えている。また、現在は10項目近いテーマに取り組んでいる。評価についてはある段階で検証し、皆さまにご報告をさせていただきます。議案の賛否については議会だより85号から掲載させて頂いております。インターネット中継については町の総務課を通して業者とやり取りをしています。具体的なところは未定です。今月末に鳥羽市議会、秩父市議会へ研修に行き、ネット中継の検討をしていますのでもう少し時間をいただきたい。

(質問者) 議会改革検討委員会で全議員が一般質問するという問題提起と、議員定数や、議員報酬が議会改革のテーマではないかとの発言があったが委員会としてこのテーマをどのように扱ったのか

(議会) 議会改革検討委員会の中で全議員の一般質問についてテーマに挙がったが、議員それぞれの資質、各委員の思いが尊重されるべきとの意見もあり、全議員が一般質問をすとの結論に至っていない。議員定数については既に16人から12人に削減しており議員定数、議員報酬の問題提起は委員会の中で挙がっていないので、それ以上の論議をしていない。議員報酬、議員定数の問題は議会基本条例の中で将来的に見直す時は必ず住民の意見を聞いて進めていく。

(質問者) 一住民の意見を申し上げます。削減ではなく、議員定数を増やし多様な意見を議会に取り入れるべき、また増えた分については給与面で改革すれば対応できるのではないか。

(質問者) 国民健康保険税について平等割の見直しについて議員からもお願いしてほしい。

(議会) 上牧町は国民健康保険税の資産割を見直したが平等割の見直しについて住民さんよりご意見を頂いています。各議員から町の方に要望している。

(質問者) 第三セクター等改革推進債の借入れの金利について、金融機関との交渉で3%支払わなくてはいけないのか。年間1億円の利息の支払いとあるが金融機関は何行と交渉しているのか。金利を1.5%や1.7%で交渉することはできないのか。

(議会) 利息の 3%は最大と考えている。交渉している銀行は 3 行と聞いている。金利上昇などのリスクを考慮し、財政計画において安定的な 3 %を採用している。

(質問者) 財政収支の見通しで税収が年々減っているが、税収が増える見通しはないのか。

(議会) 税収は緩やかに低下しているが、固定資産税の増収見込みが 7 千万円となっている。新しい住宅などを考慮し設定している。

(質問者) 中長期財政計画の今後予定している主要事業個別時事業はどのようなことがあるか、収入の面で高齢化が上牧町も進んでいる。現役世代の減少が確実で町税収入、住民税が大きく減ってくる。人口構成が課題と考えている。高齢者が増えれば支出の面で増えてくる財政収支の見通しの考えが甘いのではないか。三セクの借入れについて、借入れが 4 2 億円、3 6 億円債権放棄をする、約 6 億円を町が土地の形で公社から引き継ぐ使わない土地の売却が進んでいるのか管理を議会として監視をしてほしい。

(議会) 主要事業については資料参照 (資料 2、P 3、4) を見ていただきたい。上牧町も高齢化が進んでおり、大変厳しい財政運営が今後も続きます。財政収支の見通しの考えが甘いのではないかとのご意見はそのとおりです。公社から引き継ぐ土地については、いらぬ土地は早く売却し返済に充てることが大前提です。住民のお知恵やご意見を活用させて頂き監視機能の強化、議会質問等で今後も取り組んでいきます。

(質問者) ペガサスホールの再開については行政からどのような報告があったのか。

(議会) ペガサスホールの再開については、9 月 27 日に全員協議会で町長よりペガサスホール再開計画書が出されました。H26 年 10 月下旬ごろにペガサスホールを再開したい、再開しても中長期財政計画の中でも示しているとおり財政的に運営は可能であるとの報告がありました。まだまだ不明な点もあり議員の方からはこのままでは容易に認められないと意見をのべ今後も慎重に回を重ねて説明を聞く。

(質問者) ごみ処理の問題について、ごみ処理に関する費用は中長期財政計画に含んでいないがどのように考えているのか。

(議会) ごみ処理について、上牧町の焼却場は 3 年から 5 年の期間で現在のごみ焼却施設は終わらなければいけない。そのあと新たなごみ焼却場の建設は上牧町だけでは出来ない、国の補助金・支給金を利用する場合は何町かでしなくてはならないがまだ方向性は見えていない。残る方法論では収集事業は町が行い、焼却処分は民間委託等の選択肢も考えられる。将来のごみ処理についてはまだ掲載されていないのが実態である。

(質問者) 町の図書館と議会図書館に町ホームページ閲覧専用のパソコンの設置の検討を。

(議会) 町と相談し進めていく。

※ 会場でのアンケート結果集計を次ページに掲載

第2回上牧町議会報告会

平成25年10月19日(土)

会場でのアンケート結果集計 (参加者数 23名 アンケート回収数 15名)

問1 今回の議会報告会を何でお知りになりましたか。(重複回答有)

1. 町広報紙	11	2. 議会ホームページ	1
3. 議員からの案内	2	4. 知人・友人(議員以外)からの案内	1
5. その他	2 (自治連合会定例会・回覧板)		

問2 今回の議会報告会に満足されましたか。

開催希望回数 (年間)			時間帯	場 所	内 容 (テーマ)	進め方
1回	3	満足	9	12	5	6
2回	9	やや満足	3	2	7	4
3回	1	やや不満	1	0	1	3
4回	1	不満	0	0	0	0
無回答	1	無回答	2	1	2	2

問3 今回の議会報告会について、ご感想、お気づきの点(不満に感じる理由など)があれば、ご自由にお書きください。

- ・各項目の議員報告は、報告書を読み上げるだけではなく、記載されていない内容も盛り込み報告していただきたい。
- ・報告会をもっと町民に広報してほしい。 ・議員の個人的意見が見えて興味深かった。
- ・各資料についても特殊な点があれば説明願いたい。(計数等の変動や異常な数値がある場合等)
- ・参加者が少ないように感じた。議会基本条例の目的を住民にいろいろな場所で説明する必要性を感じた。
- ・案内についてですが、町広報紙、議会ホームページ以外に前日や当日に町内放送が出来ないのでですか？
- ・時間が短い。(2時間はほしい)、テーマごとに時間を限定しないで発言量に応じて時間を延長させてもよいと思う。 ・開催時間は午前10時ぐらいからがよい。
- ・報告会の事前の意見の取りまとめは、あまりきつくしないでほしい。
- ・資料は棒読みではなく、ポイントを分かりやすく説明してほしい。

- ・すべての審議事項について議員の知見も低く、十分な議論がなされていないように感じました。 ・この問題については、私が解決するという強い意志をまったく感じない。 ・今後の町政、議会についてますます不安を覚えました。
- ・個人の意見か、議会の意見かよくわからない。 ・形式的な議会報告会ではいけない。
- ・もっと若い人の意見が聞けるような場に積極的にしてほしい。
- ・議会ホームページに今回の報告会の日時案内を見つけられなかった。もう少し町民に対する積極的なPRをお願いしたい。
- ・欠席議員について、理由を明らかにすべき。
- ・議会報告会は、議会全体として開いているという点を全議員が確実に認識しているべき。 ・質問に対して、個人的意見を回答すべきではないと思う。
- ・内容の報告がレジュメの棒読みで、もう少し事例を挙げて丁寧に説明してほしい。
- ・質疑応答だけでは理解できがたい部分があったのではないか。

問4 その他、行政や議会に対するご意見、ご要望など、ご自由にお書きください。

- ・回答の仕方に議員の資質が明確に現れていた。議員のますますの研鑽を希望する。
- ・町民との情報共有という目的で議会報告会は、画期的なことで結構と思う。
- ・昨日、町民に対するPRが行き届いていないのか、町民が行政に無関心派が多いのか、出席者は少ないのが残念である。
- ・精一杯の議員もいらっしゃれば、ほとんど働きの見えない議員もおられる気がします。口だけでなく実務のうえで、町の為、町民の為にもっと頑張っていただきたい。